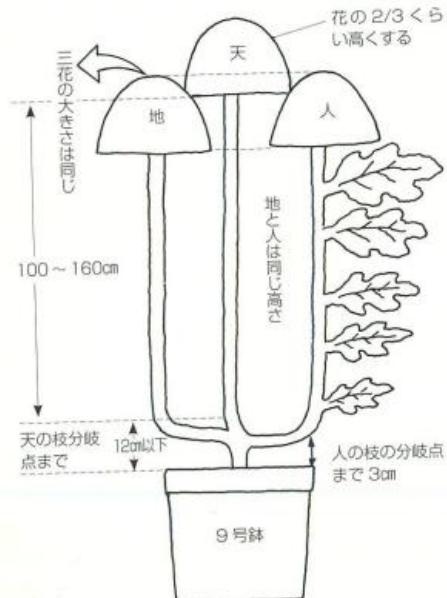


おおぎく はちか だん
●大菊12鉢花壇

大菊三本仕立て（盆養）



大菊三本仕立ては盆養ともいい、大菊作りの基本であり、正装した姿でもあります。12鉢でひとつの作品となります。

三本仕立てでは、1本の苗を摘芯てきしん（花の成長を促すテクニック）して三本の枝を伸ばします。

花を後ろに一輪少し高く（天）おき、前に同じ高さで二輪（地・人）咲かせます。

この三花を同じ大きさに揃え、より巨大輪に形よく咲かせ、いかに全体を調和させるかが課題です。

盆養作りは、鉢から幹、葉とも全体の容姿が鑑賞の対象です。

※「天・人・地」

三つあるものの順位を表わすのに用いる語。天を最上とし、地・人がこれに次ぐ。